

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2465 号

Impact of the village health center project on contraceptive behaviors in rural Jordan: a quasi-experimental difference-in-differences analysis

ヨルダン農村部における村落保健センタープロジェクトの避妊行動に関するインパクト：疑似実験法による差分の差分分析

駒澤 牧子（こまさわ まきこ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、ヨルダンの保健分野における技術協力プロジェクトの介入効果を精緻な疫学的手法により検証した初めての研究である。医療サービスへのアクセスが難しいヨルダン農村部において、公的な村落保健センターの能力強化と地域保健活動という2つの介入アプローチの融合が、住民の避妊行動に正のインパクトを与えたことを明らかにした。本研究によって村落保健センターにおける避妊具の提供と教育活動、地域における保健活動が、住民の適切な避妊行動を促すことを示唆した。本研究の手法はヨルダンのみならず同様の社会文化的背景を有する途上国の農村部においても適用可能である。今回得られた知見から、同様の介入は再生産年齢の女性及びその配偶者の家族計画に関する意識と行動を変え、望まない妊娠を減少させることに寄与すると考えられた。こうした行動の変化は、最終的に女性と乳幼児の総合的な健康改善をもたらす可能性があり、本論文は公衆衛生学的に十分に意義がある。よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。